

豊後大野市 韓国国際交流員 盧 恩志(ノ・ウンジ)さん インタビュー

「より多くの方々が
国際感覚を身に付ける手助けをしたい」



昨年の10月、大分県豊後大野市に韓国と日本の架け橋になってくれる新しい国際交流員が着任した。日本語の実力はもちろん、堂々とした自信まで持っている彼女の名前は「盧 恩志(ノ・ウンジ)」さん。来月(※2022年8月基準)で着任1年を迎える彼女の話を知ろうと、先月オンラインでインタビューを行った。

自己紹介をお願いします。

こんにちは。昨年10月から豊後大野市役所で国際交流員として働いているノ・ウンジと申します。日本に来る前、韓国では社会人として8年間働き、通訳・翻訳の大学院に通っていました。会社で日本語を勉強していましたが、「もっと本格的に勉強して仕事でも活用してみたい」という夢があり、国際交流員になりました。

どのような仕事をしていますか。

私は市役所に配属されているため、市民に合う仕事が多いです。主に韓国語教室、文化講座、学校訪問などをしており、韓国の釜山広域市の機張郡(ギジャングン)及び全

新北道の益山(イクサン)市との交流の際の通訳・翻訳、豊後大野市で発行する公式資料の韓国語版の翻訳などもしています。最近では、新しく制作した豊後大野市のマスコットに韓国語字幕をつける仕事をしました。



豊後大野市 韓国国際交流員 盧 恩志(ノ・ウンジ)さん インタビュー

韓国語講座についてご紹介をお願いします。

韓国語の定期講座は、年に二回を行っています。ただ、現在はコロナの影響により、毎年実施してきた機張郡とのホームステイ交流が中止となっているので、さらに一ヶ月間の特別講座も行っています。

一ヶ月の講座は、長期にわたり行われる講座と色々違うと思いますが、どうですか。

一ヶ月ごとに募集をかけているため、参加者が毎回変わりますが、それに伴い参加者の韓国語のレベルも毎回変わるようになります。授業を準備する立場としては多少悩ましい部分もありますが、できるだけ多くの方々に

参加してほしかったので、短期講座をすることになりました。



真の先生ですね！

ピンバシ指導する先生です。「実力がつかない」と相談する学生さんには、「一日何時間勉強していますか？」と逆に尋ねたりします(笑)。

文化講座はどうですか。

市民を対象に他の地域の国際交流員と協業して料理講座をしたり、講演

会の形式で行ったりしています。八月の初めには「ドラマでは学べない韓国文化」というテーマで、韓国の結婚式文化、公共交通機関の乗り換え制度、酒文化などについて講座を行いました。

学校訪問についても紹介してください。

主に小学校にお邪魔させていただいています。コロナが流行っている現状ではありますが、六月、七月には毎週学校を訪問しました。学校訪問では、まず韓国を紹介し、ハングル(韓国の文字)で自分の名前を書き、工作をするなどの活動をしますが、学校側の要望があればそれに沿って準備をすることもあります。

講座を通じて、子供たちが韓国に興味を持つようになると思いますか。

「日本の文化がいつも『正』ではない」というように、オープンマインドになれると思います。「たとえ日本では当たり前なことでも、他の国ではそうではないかもしれない」といった国際感覚を身につけられる、ということですね。



豊後大野市 韓国国際交流員 盧 恩志(ノ・ウンジ)さん インタビュー

以前行った学校訪問で、「韓国では食事をする時、食卓に食器を置いたまま食べる」と説明をしたら、ある子供が「それは犬食いだね」と言ったことがあります。まず小学生がそのような表現を知っていることに驚きましたが(笑)、その話をきっかけに「韓国ではむしろ食器を持って食べると『礼儀知らず』と思われる。自分の国の文化がいつも『正』ではない。韓国と日本は隣国で見た目も似ているが、お互いの違いを知ることが大事だ」と、丁寧な説明ができました。もちろん、子供たちに韓国に対する好印象を持たせることも重要だと思いますが、まずはこのような感覚を育ててあげたいです。



仕事で特にやりがいを感じたことがありますか。

私が着任した頃には、コロナの影響により毎年秋に行われていた機張郡とのホームステイ交流が二年以上中止になっていました。そこで、年末年始に年賀状を送る日本の文化に着目し、「動画面賀状」を送る企画をしました。最初、豊後大野市民の皆さんは「恥ずか

しい」という反応でしたが、「いつも秋にホームステイをしたので、機張郡の皆さんは豊後大野市の秋しか知らないはずだ。これを機に新年の豊後大野市も紹介してみよう」と熱心に説得をしたら、参加してくれました。また、市民だけにする予定だったこの企画は趣旨がいいと言われ、市長や市議会の議員の方々まで参加することになり、とてもクオリティーの高い動画が完成しました。完成した動画は機張郡に送り届け、豊後大野市民の皆さんにも思い出になれるよう、CDを贈りました。



今年一番記憶に残る仕事は何ですか。

七月に玖珠町にある「久留島武彦記念館」のキム・ソンヨン館長をお招きして行った講演会で、テーマは「地域に根ざしたミュージアム」で、外国人であるキム館長が玖珠町への記念館設置に貢献し、その結果、地域活性化につながったことについて話していただきました。とても充実した内容だったので参加者の反応も良く、「ありがと、今度記念館に行ってみる」など、感謝の気持ちを伝えていただいたので、とてもやり甲斐を感じました。また、講演会を準備する中で、企画や講師の招へい業務もでき、色々勉強になりました。

豊後大野市 韓国国際交流員 盧 恩志(ノ・ウンジ)さん インタビュー



もうすぐ着任一年を迎えられます。一年間働いてみてどうですか。

今まで日本語を勉強してきた、日本についてだいぶ知っているとはいいますが、実際に日本の市役所で働いてみたら、本では学べないことが多かったです。また、職員さんの電話対応の仕方を注意深く見て真似してみるなど、仕事に関しても沢山学べて良かったです。日

本語を勉強している者としては、このようにビジネスマナーを近くで見学べる機会があり、とても嬉しいです。

最近はどうですか。

とても元気に過ごしています。日本に来る前、韓国で働いていた頃には、仕事が終わると飲み会をしたり、友達に会ったりしていた、夜にまた新たな一日が始まる感じでした。しかしここは、日が暮れると街が眠るようで、私も日が上り、沈む時間に合わせて生活するようになりました。昔はよく深夜に寝ていましたが、今はちゃんと夜中に寝て、夕食も十七時半に食べています。また、旬の果物や野菜について全く知りませんでした、ここで

は旬になると周りからキュウリ、スイカなどをいただき、おかげさまで少しは知るようになりました。

スイカがもらえるなんて
…興味深いです。

おそらく皆さんは自給自足の生活をしているので、「野菜や果物を買って食べる」という認識はあまりないような気がします(笑)。私もいただいた旬の野菜で食事を作っているので、レトルト食品や外食をする頻度が減り、健康的な食生活をしています。

仕事以外に、どんなことに興味がありますか。

ドライブです。最初は時速四十キロで走るだけ緊張しましたが、今は車で長崎や屋久島まで行け

るようになりました。

韓国は渋滞がひどいため、運転をストレスに思う人が多いです。しかし、ここでは少し足を運べば美しい大分の山が目の前に広がるため、私にもドライブの楽しさがわかるようになりました。週末に特に予定がなくても、ふらりとドライブに出かけ、おいしいものを食べて、コーヒーを一杯飲むと「これでまた頑張れる」と思うようになります。



豊後大野市 韓国国際交流員 盧 恩志(ノ・ウンジ)さん インタビュー

豊後大野市で一番好きな場所がありますか。

私の家と市役所の自分の席が好きです。どちらも山と空がとてもよく見えるためです。今年の春に、毎日山や空の色、そして雲の形が変わっていく様子を見て、初めて季節の変化を実感しました。その感覚は今まで一度も感じたことがなかったのです、とても良かったです。

これからここでどんな仕事をしたいですか。

豊後大野市は約三十年間、草の根交流を続けてきた町なので、その交流が末永く続けられるように架け橋となり、さらに、より多くの方々に韓国を知ってもらえるよう頑張りたいです。なお、若い世代、特に小中高生が一

度でも異文化に触れることが非常に大事だと思うため、学校の先生にお会いすると「子供たちに国際交流の機会を与えることはとても重要で、それは大人にしかできず、その中でも先生の役割が大きいです」と気持ちを伝えていきます。これは「韓国を知ってほしい」ということではなく、「韓国

(異文化)を知ること、子供たちが国際感覚を身につけると、未来に自分の人生を選ぶ時、選択肢を広げることができる」と思うためです。

それで子供たちが自分の意見を持つようになり、「K-POP、韓国ドラマが好き」という思いから、さらに次のステップに進み、日韓関係についても考えられるようになって

欲しいです。そのために、私は様々な問題に対して「自分で考える力」をつけてもらえるよう、質問をしています。

たとえ日韓関係が冷え込み、マスコミで韓国ニュースや反日デモが報道されても、子供たちが自分の経験に基づいて、物事を正しく判断できる「力」になりたいです。

このような「私の思い」という『種』が、いつか誰かの胸を動かせ『芽』が出られるように、これからも頑張ります。

インタビュー日

二〇二二年八月十九日

記事作成

交流員ノ・ジョン

豊後大野市ギャラリー



普光寺摩崖仏



神楽会館



用作(ゆうじゃく)公園



沈阻の滝